

HP Performance Manager

Windows®、HP-UX、Solaris オペレーション システム用

ソフトウェア バージョン : 8.20

インストール、アップグレードおよび移行ガイド

マニュアルのリリース日付 : 2009 年 2 月
ソフトウェアのリリース日付 : 2009 年 2 月



法律上の通知

保証

HP 製品およびサービスに関する保証条件は、製品およびサービスに付属する保証書に明示された保証条件に限定されます。本ドキュメントの記載内容はいかなる追加保証をも行うものではありません。HP は、本文書内の技術上または編集上の誤りや遺漏について責任を負わないものとします。

本ドキュメントに記載した情報は、予告なく変更されることがあります。

制限付き権利

機密コンピュータ ソフトウェア。所有、使用、コピーには、HP が発行する有効なライセンスが必要となります。商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア ドキュメント、市販品向けのテクニカル データは、FAR 12.211 および 12.212 に従い、米国政府のベンダー標準商業ライセンスのもと、ライセンスを取得しています。

著作権情報

© Copyright 2007-2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標情報

Java™ およびすべての Java ベースの商標とロゴは、米国およびその他の各国のサン・マイクロシステムズ社の登録商標です。

Microsoft®、Windows NT®、Windows®、MS Windows® は、マイクロソフト社の米国登録商標です。

Oracle® は、オラクル社（カリフォルニア州レッドウッド）の米国登録商標です。

OSF/Motif® および Open Software Foundation® は、米国およびその他の各国のオープン グループの登録商標です。

Pentium® は、インテル社の米国登録商標です。

UNIX® は、オープン グループの登録商標です。

ドキュメントの更新

このガイドのタイトル ページには、以下の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアのバージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- マニュアルのリリース日付。ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアのリリース日付。ソフトウェアの本バージョンがリリースされた日付を示します。

最新の更新を確認し、最新版のドキュメントを使用しているかどうかを確認するには、次の URL にアクセスしてください。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトをご利用いただくためには、HP Passport ユーザーとしての登録の後、サインインしていただくことが必要です。HP Passport ID を登録するには、以下にアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または HP Passport ログイン ページの **新規ユーザー - 登録してください** リンクをクリックしてください。

また、製品のサポート サービス契約を締結していただくことにより、更新版または最新版がお客様に送付されます。詳細は、HP の営業担当者にお問い合わせください。

サポート

次の HP Software サポート Web サイトにアクセスしてください。

<http://support.openview.hp.com/support.jsp>

HP Software オンライン サポートにより、対話形式による技術サポート ツールに、効率的にアクセスすることができます。このサポート サイトでは、次のことが可能です。

- 重要なナレッジ ドキュメントの検索
- サポート依頼と改善要求の提出、および経過の追跡
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート連絡先の問い合わせ
- 利用可能なサービスについての情報の参照
- 他のソフトウェア ユーザーとの情報交換の場への参加
- ソフトウェア トレーニングの検索および参加登録

これらのサポート項目をご利用いただくためには、HP Passport ユーザーとしての登録の後、サインインしていただくことが必要となります。また、いくつかのサポート項目は、サポート契約中のユーザーにのみ提供されています。

アクセス レベルおよび HP Passport の詳細については、次の URL を参照してください。

http://support.openview.hp.com/new_access_levels.jsp

目次

1	このドキュメントで使用される表記法	7
2	インストール概要	9
	サポートされたプラットフォーム	9
	Solaris ゾーンで Performance Manager 用にサポートされる設定	10
	インストール要件	10
	ハードウェアの要件	11
	メモリの要件	11
	サポートされたブラウザ	11
	Java 実行環境 (JRE) の要件	12
	HP-UX	12
	Windows	12
	インストールの前提条件	12
	言語のオプション	12
3	インストールの手順	13
	Windows での Performance Manager のインストール	14
	サポート付きインストール	14
	サポートなしインストール	16
	HP-UX および Sun Solaris での HP Performance Manager のインストール	17
	サポート付きインストール	17
	サポートなしインストール	19
	インストール結果	20
	Performance Manager ライセンス キーのインストール	20
	HP Performance Manager の削除	23
	Windows での HP Performance Manager のアンインストール	23
	サポート付きアンインストール	23
	サポートなしアンインストール	23
	HP-UX および Solaris での HP Performance Manager のアンインストール	24
	設定ファイルおよびユーザー グラフ テンプレートの削除	24
	クリーンアップ スクリプトを使用した Performance Manager ファイルの削除	24

4 Performance Manager 8.20 へのアップグレード	25
Performance Manager バージョン 8.10 からのアップグレード	25
HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.20 へのアップグレード	26
Windows での Performance Manager 8.20 へのアップグレード	27
Performance Manager バージョン 8.10 からのデータ移行	28
アップグレード結果	29
5 Performance Manager のクラスタ環境でのインストール	31
クラスタ用語	31
リソース グループ	31
システム要件	32
Performance Manager をクラスタ環境にインストールするための要件	32
インストール前に	32
Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール	33
HPOM がインストールされているノードに Performance Manager をインストールする場合	33
HPOM がインストールされていないノードに Performance Manager をインストールする場合	33
HP-UX および Solaris ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備	36
HP-UX または Solaris クラスタでの Performance Manager のインストール	36
クラスタにインストールした Performance Manager を 8.20 へアップグレード	37
HP Performance Manager の削除	37
6 関連ドキュメント	39
サイト固有のパッチ	45
一般的なリリース パッチ	45

1 このドキュメントで使用される表記法

このドキュメントでは、**HP Performance Manager** サーバー システム上のファイルの場所を参照する場合、以下の表記法が使用されます。



スラッシュは、**UNIX** システムではフォワード スラッシュ "/"、**Windows** システムではバック スラッシュ "\" と表記されます。本ドキュメントでは、フォワード スラッシュ "/" は例および仕様に使用されます。

表記法	説明	Windows システム上	UNIX システム上
<install_dir>	Performance Manager がインストールされたディレクトリ。	デフォルトのインストール ディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。お使いのシステムに OpenView Performance Agent 、 OpenView Reporter または OpenView Operations などの旧バージョンの HP Software 製品がインストールしてある場合、デフォルトの Performance Manager インストール ディレクトリは C:\Program Files\HP OpenView です。	HP-UX および Solaris システムでは、インストール ディレクトリは /opt/OV です。
<data_dir>	HP Software 製品に関連するデータ ファイルおよびログ ファイルの格納先となる共有データ ディレクトリ。	Windows 2003 では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。 Windows 2008 では、デフォルトのデータディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。 お使いのシステムに OpenView Performance Agent 、 OpenView Reporter または OpenView Operations などの旧バージョンの HP Software 製品がインストールしてある場合、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Program Files\HP OpenView です。	HP-UX および Solaris システムでは、データ ディレクトリは /var/opt/OV です。

表記法	説明	Windows システム上	UNIX システム上
<PM_data_dir>	Performance Manager データファイルが保管されるディレクトリ。	Windows では、デフォルトの Performance Manager データディレクトリは <data_dir>\shared\server\ です。	HP-UX および Solaris システムでは、Performance Manager データディレクトリは /var/opt/OV/shared/server です。
<bin_dir>	バイナリがあるディレクトリ。	32 ビット Windows システムでは、ビンディレクトリは <install_dir>\bin です。 64 ビット Windows システムでは、ビンディレクトリは <install_dir>\bin\win64 です。	HP-UX および Solaris システムでは、インストールディレクトリは <install_dir>/bin です。

2 インストール概要

このガイドでは、Performance Manager 8.20 のインストール、Performance Manager 8.20 へのアップグレード。

この章では、以下の情報を説明しています。

- 現在のバージョンの Performance Manager が使用可能なオペレーティング システム。
- Performance Manager を実行するのに必要なハードウェア / ソフトウェア コンポーネント。
- 操作環境に必要なコンポーネント。

HP Performance Manager インストールする前に、[インストール要件](#)を確認してください。Performance Manager のマニュアルについては、[関連ドキュメント](#)を参照してください。

HP Performance Manager と同時に HP Operations Manager (HPOM) for Windows または for UNIX を使用する場合、Performance Manager をインストールする前に HPOM をインストールし、設定をしておく必要があります。

サポートされたプラットフォーム

本バージョンの Performance Manager は、次のプラットフォームで使用可能です。

オペレーティング システム	アーキテクチャ	バージョン
Microsoft Windows	X86 および x64 (AMD64 および EM64T を含む)	<ul style="list-style-type: none">• Windows 2003、サービスパック 2• Windows 2003 Server、リリース 2• Windows 2008、サービスパック 1
HP-UX	IPF	<ul style="list-style-type: none">• HP-UX 11iV3
Sun Solaris	Sun SPARC	<ul style="list-style-type: none">• Solaris Sparc 10



Performance Manager バージョン 8.20 は、HP-UX PA-RISC ではサポートされません。ただし、Performance Manager バージョン 8.20 では、データのバージョン 8.10 から 8.20 への移行を可能にするコマンドライン オプションを、ご用意しています。詳細については、[Performance Manager バージョン 8.10 からのデータ移行](#)を参照してください。

Solaris ゾーンで Performance Manager 用にサポートされる設定

PM は、Solaris 10 ネイティブ ゾーンのみでサポートされます。ゾーンで Performance Manager をインストールする場合、Performance Manager インストール用にサポートされる設定は、下記のみです。

```
SUNW_PKG_ALLZONES = false
```

```
SUNW_PKG_HOLLOW=false
```

```
SUNW_PKG_THISZONE=true
```

これにより、Performance Manager は、ユーザーが選択したグローバル ゾーンまたは非グローバル ゾーンのみで、インストールされます。必要なゾーンでは、すべて手動でインストールする必要があります。インストールの方法は、[インストールの手順](#)を参照してください。

インストール要件

インストール中、HP Software インストーラが次のタスクを実行します。

- お使いのシステムのディスク容量が要件を満たしているか確認します。ディスク容量の詳細は、ページ 11 の[ハードウェアの要件](#)を参照してください。
- お使いのシステムに他の HP ソフトウェア製品がインストールされているか確認します。
- ポートが使用されているか確認します。競合が生じた場合、ポート設定を変更するよう指示が出されます。
- 検出された事項の詳細ログを提供します。
- インストールしたコンポーネントのリストを表示します。



インストール中、デフォルトのポート番号 **http (8081)**、**https (8444)**、シャットダウン ポート (**8006**)、**JK2-AJP 13** ポート (**8010**) が他のアプリケーションにより使用されている場合、HP インストーラがこれを検出します。これらのポートのうちいずれかが他のアプリケーションにより使用されている場合、次の警告メッセージが表示されます。

情報：シャットダウン ポートは使用可能です。

情報：HTTP ポートは使用可能です。

警告：HTTPS ポートは使用されています。インストール後、変更してください。

この場合、Performance Manager のインストールが正常に終了しても、デフォルトのポート番号を使用して Performance Manager にアクセスすることはできません。このような場合、Performance Manager にアクセスするには、**http**、**https**、シャットダウン、**JK2-AJP 13** ポート設定を変更する必要があります。詳細については、*HP Performance Manager 管理者ガイド*を参照してください。

ハードウェアの要件

最適なパフォーマンスを得るには、1 GB 以上のメモリを推奨します。処理の遅いシステムやメモリの少ないシステムにインストールすると、パフォーマンスが遅くなる可能性があります。

ディスク容量

HP Performance Manager のインストールに必要なディスクの最低空き容量：

プラットフォーム	必要なディスク容量
HP-UX IA	750 MB
Windows	300 MB
Solaris	350 MB

- ▶ インストール プロセス中、インストーラが必要なディスク容量を表示します。ただし、インストーラは正しい値を表示せず、実際に必要なディスク容量よりもはるかに少ない量が表示されます。システムの実際のディスク容量が、ここで要求される量よりも小さい場合、インストールは失敗します。

メモリの要件

1 GB 以上の物理メモリ クラスタ環境の場合、クラスタの各ノードに 1 GB の物理メモリがあります。

- ▶ 適切なパフォーマンスを得るには、2 GB 以上の物理メモリを推奨します。

サポートされたブラウザ

Performance Manager にアクセスするのに必要な Web ブラウザは、以下のとおりです。

オペレーティング システム	サポートされたブラウザ
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none">Firefox 1.5 および 2.0Internet Explorer 6 および 7
HP-UX	Firefox 1.5
Sun Solaris	Firefox 1.5

Java 実行環境 (JRE) の要件

HP-UX

デフォルトの HP-UX 設定 (特にカーネルパラメータおよびシステム調節値) では、一部の Java アプリケーションに対応していません。通常、手動で調整が必要なアプリケーションは、大規模で長時間実行するサーバー側 Java アプリケーションで、大量のスレッドを有し、Performance Manager のようにサーバー接続するクライアントの割合が高くなります。スタンドアロンのバンドルである Java Out-of-Box (JOOB) のインストールを解決する方法。JOOB は、スタートアップ (RC) スクリプトをインストールし、カーネルパラメータを変更し、カーネルを再構築し、システムを再起動します。スタートアップ中に、スタートアップスクリプトがシステム調節値を修正するため、Java は良いサンプル動作で起動できます。詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/products1/unix/java/java2/outofbox/index.html>

HP-UX システム用パッチについての詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/products1/unix/java/patches/index.html>

Windows

Windows システムに Performance Manager をインストールする前に、次に示すパッチ (更新版があればそのパッチ) をシステムに適用してください。

Java 実行環境 (JRE) バージョン 1.50 以降の対応に必要なパッチ	
Windows 2003	Windows Scripting Host バージョン 5.6、C++ ライブラリ msvc60.dll

Windows システムのパッチの詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://java.sun.com/j2se/1.4.2/system-configurations.htm>

インストールの前提条件

Performance Manager をインストールする前に、OvJREB を使用しているプロセスまたはアプリケーションを、すべて停止する必要があります。プロセスまたはアプリケーションを停止する手順については、該当製品またはアプリケーションの製品マニュアルを参照してください。

言語のオプション

Performance Manager 8.20 バージョンは、英語、日本語、韓国語、簡体字中国語で使用できます。ローカライズ版では、ユーザーインターフェイスの選択項目、Web ページ、ログファイル、オンラインヘルプ、ユーザーマニュアルが、特定の言語に翻訳されています。

Performance Manager をインストールするとき、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。英語とシステムロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、「英語」のオプションのみが表示されます。

例：日本語のローケルでは、オプションとして日本語と英語があります。

3 インストールの手順



お使いのシステムに **Performance Manager 8.20** をインストールするには、**Windows** システムをお使いの場合は管理者としてログオンし、**HP-UX** および **Solaris** システムの場合はルートユーザーとしてログオンする必要があります。

OvTomcatB が他の **HP** ソフトウェア製品によってインストールされている場合は、**Performance Manager** のインストール前に、**OvTomcatb** が非権限モードで実行（つまり **HP-UX** および **Solaris** システムの場合はルート ユーザー権限なしで、**Windows** システムの場合は管理者権限なしで実行）されるように設定されていないことを、確認してください。**ovtomcatb** が非権限モードで実行されるように設定されている場合、ルート ユーザーまたは管理者のみが **ovtomcatb** を実行できるように設定を修正します。

Performance Manager を **Windows** または **HP-UX** および **Solaris** システムにインストールするには、以下のセクションで説明する手順に従います。

- ページ 14 の **Windows** での **Performance Manager** のインストール
- ページ 17 の **HP-UX** および **Sun Solaris** での **HP Performance Manager** のインストール



インストール中、デフォルトのポート番号 **http (8081)**、**https (8443)**、シャットダウン ポート (**8006**)、**JK2-AJP 13 ポート (8010)** が他のアプリケーションにより使用されている場合、次の警告メッセージが表示されます。

情報：シャットダウン ポートは使用可能です。

情報：HTTP ポートは使用可能です。

警告：HTTPS ポートは使用されています。インストール後、変更してください。

この場合、**Performance Manager** のインストールが正常に終了しても、デフォルトのポート番号を使用して **Performance Manager** にアクセスすることはできません。**Performance Manager** にアクセスするには、**http**、**https**、シャットダウン、**JK2-AJP 13** ポート設定を変更する必要があります。詳細については、**HP Performance Manager 管理者ガイド**を参照してください。

OpenView Reporter 3.70 から **Reporter 3.80** にアップグレードすると、お使いのシステムから **Graphing Component (GC) 4.x** が削除されません。同じシステムに **Performance Manager 8.20** をインストールしようとする、**GC 4.x** をアンインストールするよう、インストーラから指示が出ます。**GC 4.x** をアンインストールするには、下記のコマンドをコマンドプロンプトで実行します。

```
msiexec /x {90605306-2C02-4D00-ADD1-A3D0F1573EAA} /qb
```



GC 4.x をアンインストールすると、**Reporter** ユーザー インターフェイスから、オンデマンド レポートが削除されます。

ただし、お使いのシステムに **Operations Manager for Windows 7.5** がインストールされており、これを **Operations Manager for Windows 8.10** にアップグレードした場合、**GC 4.x** はお使いのシステムから自動的に削除されます。

- ▶ Performance Manager をインストールするとき、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。英語とシステム ロケールが設定されている言語から選択する、オプションがあります。英語のロケールでは、「英語」のオプションのみが表示されます。

Windows での Performance Manager のインストール

Windows システムに Performance Manager をインストールするには、次の手順のいずれかを実行してください。

- ▶ Performance Manager を Windows x64 にインストールする場合、必ず x64 用のインストーラを選択してください。対応する部品番号については、リリース ノートを参照してください。
 - サポート付きインストール
 - サポートなしインストール

サポート付きインストール

サポート付きインストールを実行するには：

- 1 Windows 用の HP Performance Manager CD/DVD メディア を、CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。HP Performance Manager インストール ホーム ページが表示されます。
- 2 **HP Performance Manager をインストール** をクリックします。

または

自動実行が有効になっていない場合、CD/DVD-ROM ドライブから **index.htm** をダブルクリックします。

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。

- ▶ Performance Manager をお使いの Windows システムに初めてインストールする場合、インストール用パラメータを含む `ovinstallparams.ini` ファイルが、システムの `temporary` ディレクトリに作成されます。インストール中、HP Software インストーラは `ovinstallparams.ini` ファイルを確認します。インストーラがお使いのシステムで `ovinstallparams.ini` ファイルを検出すると、ファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合は、**はい** をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、**いいえ** をクリックします。

インストーラがファイルを検出できない場合は、デフォルト値の `ovinstallparams.ini` ファイルが作成され、`temporary` ディレクトリに保存されます。`ovinstallparams.ini` データを保存するには、他の HP Software 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

システムのロケールを 英語、日本語、韓国語、簡体字中国語のどれか 1 つに設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。システム ロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システム ロケールが上記以外の言語に設定されている場合、インストーラには「英語」のみが表示されます。

- 3 インストール ウィザードで、**次へ**をクリックします。「ライセンス契約」画面が表示されます。
- 4 ライセンス契約の条件を読み、「ライセンス契約の条項に同意します」オプションを選択します。インストール ウィザードがインストール チェックを実行します。

▶ お使いのシステムに他の **HP Software** 製品がインストールされている場合、インストール ウィザードにより、該当製品のアプリケーション フォルダ パス およびデータ フォルダ パスが、**Performance Manager** のインストール用デフォルト ディレクトリとして表示されます。他の **HP** 製品がインストールされておらず、**Performance Manager** を初めてインストールする場合、次のディレクトリのフォルダ パスを指定します。

- a プログラム ファイルを保管したいアプリケーション フォルダ パスまたはディレクトリ。デフォルトのアプリケーション ディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。
- b ログ ファイルなどのデータ ファイルを保管したいデータ フォルダ パスまたはディレクトリ。**Windows 2003** では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。**Windows 2008** では、デフォルトのデータディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。

- 5 **次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。この画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 6 **インストール**をクリックします。

▶ コンポーネントのうち、すでにインストールされているものがある場合、インストール中に**すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います**チェック ボックスが表示されます。このような場合、次のいずれかのオプションを使用することができます。

- 「すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います」チェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- 「すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行います」チェック ボックスをクリアし、選択したコンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアすると、現在インストールされているソフトウェアはそのまま保持されます。

▶ インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。**ロールバック** オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。**終了**をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のインストールを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のインストール再開またはアンインストールの、どちらかを実行するかを確認する指示が出ます。

- 7 **詳細**タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、**Performance Manager** と他の HP 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。
- 8 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、**ログ ファイルの表示**をクリックします。
- 9 インストールを完了するには、**完了**をクリックします。デスクトップに **Performance Manager** アイコンが作成されます。**Performance Manager** を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。**HP Performance Manager** ホーム ページが表示されます。

▶ システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

サポートなしインストール

▶ サポートなしインストールでは、システムの **temporary** ディレクトリに **ovinstallparams.ini** ファイルがある場合、インストーラはこの値をデフォルト値として使用します。インストールを開始する前に、このファイルが使用できるか確認してください。このファイルを変更したい場合、インストール前に修正してください。

サポートなしインストールを実行するには :

- 1 **Windows** コマンドプロンプトを開き、以下に示すように、**HPOvPM_8.20.000_setup.exe** ファイルが保存されているドライブ名を入力します。
<drive>:
この場合、**drive** は、**Performance Manager** ファイルが含まれている **CD/DVD-ROM** ドライブになります。
- 2 システム ロケールが英語に設定されている場合、以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。
HPOvPM_8.20.000_setup.exe -i silent
ユーザーがシステムのロケールを英語以外の言語に設定している場合、以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。
HPOvPM_8.20.000_setup.exe -i

▶ インストール プロセスが、バックグラウンドで実行されます。**Windows タスク マネージャ -> プロセス**を開いて、**HPOvPM_8.20.000_setup.exe** がリスト表示されていることを確認します。**<temp_directory>/HPOvInstaller** ディレクトリ内の使用可能なログ ファイルを確認して、インストールが完全に終了したかを検証することもできます。
この場合、一時ディレクトリは、システムの **temporary** ディレクトリを指します。

HP-UX および Sun Solaris での HP Performance Manager のインストール

HP-UX または Solaris システムに Performance Manager をインストールするには、次の手順のいずれかを実行してください。

- サポート付きインストール
- サポートなしインストール

サポート付きインストール

グラフィカルなコマンドライン インターフェイスにより、お使いの HP-UX または Solaris システムに HP Performance Manager をインストールすることができます。

グラフィカル インターフェイスを使用した HP Performance Manager のインストール

X 11 インターフェイスを使用して Performance Manager をインストールするには、次のタスクを実行します。

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.20 CD/DVD-ROM メディアを、CD/DVD ドライブに入れます。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 インストール開始にあたり、X11 ターミナル ウィンドウを使用するには、DISPLAY 変数をエクスポートし X11 ターミナルをポイントするようにします。次のように入力します。

```
<CD/DVD-ROM> HPOvPM_8.20.000_setup.bin
```

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。このウィンドウには、導入メッセージが表示されます。



HP Performance Manager をお使いの HP-UX または Solaris システムに初めてインストールする場合、インストール用パラメータを含む ovinstallparams.ini ファイルが、システムの temporary ディレクトリに作成されます。インストール中、HP インストーラが ovinstallparams.ini ファイルを確認します。HP インストーラがお使いのシステムで ovinstallparams.ini ファイルを検出すると、ファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合は、はいをクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、いいえをクリックします。

HP インストーラがファイルを検出できない場合は、システムにデフォルト値の ovinstallparams.ini ファイルが作成され、temporary ディレクトリに保存されます。ovinstallparams.ini データを保存するには、他の HP 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

システムのロケールを 英語、日本語、韓国語、簡体字中国語のどれか 1 つに設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。システム ロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システム ロケールが上記以外の言語に設定されている場合、インストーラには「英語」のみが表示されます。

- 4 **HP Performance Manager** インストール ウィザードで、**次へ**をクリックします。「ライセンス契約」画面が表示されます。
- 5 ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、ライセンス契約の条項に同意しますオプションを選択します。インストール ウィザードがインストール チェックを実行します。
- 6 **次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
- 7 **インストール**をクリックします。
 - ▶ インストール中、すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスが表示される場合があります。このような場合、次のいずれかのオプションを使用できます。
 - すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
 - すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスをクリアし、選択した **HP Software** コンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアしても、現在インストールされている **Software** コンポーネントは変更されません。
 - ▶ インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。**ロールバック** オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。**終了**をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のインストールを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のインストール再開またはアンインストールの、どちらかを実行するかを確認する指示が出ます。
- 8 **詳細**タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、コンポーネントのリストを表示します。
- 9 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、**ログ ファイルの表示**をクリックします。
- 10 インストールを完了するには、**完了**をクリックします。
 - ▶ システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

コマンドラインインターフェイスを使用した HP Performance Manager のインストール

コマンドラインインターフェイスを使用して HP Performance Manager をインストールするには:

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.20 CD/DVD-ROM メディアを、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 以下のコマンドを実行します。

— Performance Manager をスタンドアロン システムにインストールする場合

```
<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.20.000_setup.bin -i console
```

システムのロケールを 英語、日本語、韓国語、簡体字中国語のどれか 1 つに設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。システム ロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システム ロケールが上記以外の言語に設定されている場合、インストーラには「英語」のみが表示されます。

- 4 ライセンス情報について、プロンプト「ライセンス契約の条項に同意します」が表示されたら、Y を入力して条件に同意し、インストールを続けます。インストーラが、すべてのインストール要件を確認します。
- 5 続行するには、**Enter** をクリックします。プレインストールの概要が表示されます。
- 6 続行するには、**Enter** をクリックします。


インストールが完了すると、インストールが正常に終了したという内容のメッセージが送られます。

サポートなしインストール

サポートなしインストールを実行するには:

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.20 CD/DVD-ROM メディアを、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 次の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
HPOvPM_8.20.000_setup.bin -i silent
```

 インストーラが作動中の HP Performance Manager のインストールを検出した場合、**-i silent** コマンドの実行により、HP Performance Manager はアンインストールされます。検出されない場合は、Performance Manager がインストールされます。

- 4 インストールを検証するには、ログ ファイルを確認します。

インストール結果

インストールが正常に行われた場合：

- **HP-UX** および **Solaris** システム上では、アプリケーション ディレクトリおよびデータ ディレクトリ パスが表示されます。
- **Windows** システム上では、HP\HP BTO Software\Performance Manager フォルダが **Windows** システムの **スタート > プログラム** メニューに追加されます。
- インストール後、関連するログ ファイルは <temp_directory>/HPOvInstaller ディレクトリにあります。ログ ファイルには、適切なメッセージも含まれます。ログ ファイルのファイル名の形式は、PerfUtil-MM-dd-yyyy.log.0 です。

この場合、**MM** は月を、**dd** は日を、**yyyy** は年を示します。ファイル名は、最後にインストールが実行されたときのタイム スタンプを示します。

インストール ディレクトリのプログラム ファイルで指定した場所から、**HP Performance Manager** マニュアルを使用できます。**HP Performance Manager** ドキュメントの全リストは、**6 章、関連ドキュメント**を参照してください。

- ▶ **Performance Manager** 最新バージョンへのインストール、移行、またはアップグレード後、ファイル OVPMconfig.ini および OVPMUsers.xml には、以下のうち 1 つまたは複数の適切なメッセージが含まれます。
- **Performance Manager** バージョン **8.20** を初めてインストールした場合、次記のメッセージになります。Performance Manager バージョン 08.20.000。
 - **Performance Manager** バージョン **8.10** からデータを移行した場合、次記のメッセージになります。Performance Manager バージョン 08.20.000 に移行されました。
 - **Performance Manager** バージョン **8.10** からアップグレードした場合、次記のメッセージになります。Performance Manager バージョン 08.20.000 にアップグレードされました。

Performance Manager ライセンス キーのインストール

Performance Manager を使用するには、ライセンス キーが必要です。**Performance Manager** をインストールして初めて使用する場合は、**60** 日有効な試用ライセンス (別名 **Instant On** ライセンス) が付与されます。製品の使用を継続するには、この **60** 日の試用期間内に、正式なライセンス キーを取得するか、試用期間を延長する必要があります。

- ▶ **Performance Manager** バージョン **8.10** を **60** 日有効な試用ライセンス (別名 **Instant On** ライセンス) で使用しており、試用ライセンスの有効期限が切れる前に **Performance Manager** バージョン **8.20** にアップグレードする場合、バージョン **8.20** は **60** 日有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。たとえば、**Performance Manager** バージョン **8.10** を **60** 日間の試用ライセンスで使用しており、**15** 日後に **Performance Manager** バージョン **8.20** にアップグレードした場合、バージョン **8.20** は **60** 日有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。

正式なライセンスを取得するには、次のオプションのうち1つを行います。

Web サイト **www.webware.hp.com** から、正式なライセンスまたは試用ライセンスの延長を要求する。電子メールまたはインターネット接続により、ライセンス キーが提供されます。

ライセンス キーを確認し、インストールするには、以下のステップに従います。

- 1 下記のコマンドをコマンドプロンプトで実行します。

```
<bin_dir>\ovpm license
```

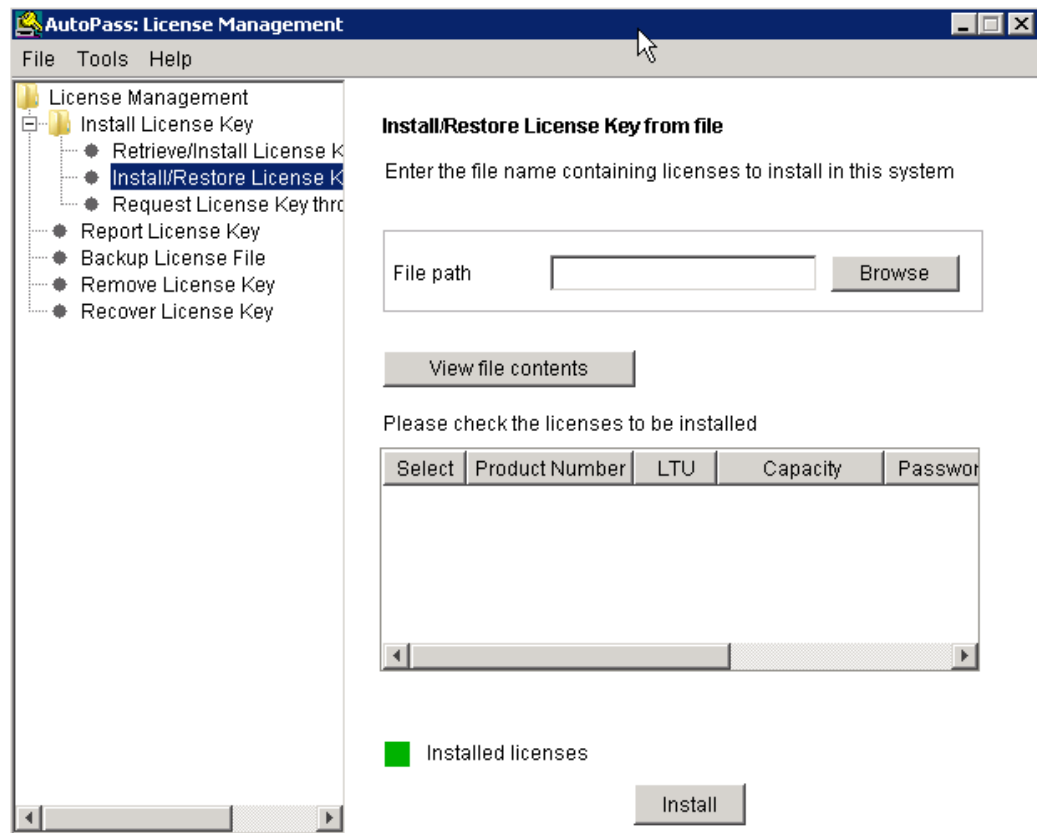
お使いの Performance Manager ライセンスの状態が表示された後、コマンドラインプロンプト "License Command>" が表示されます。

▶ HP-UX と Solaris システムでは、**ovpm ライセンス** コマンドを実行する前に、AutoPass GUI を適切な表示ウィンドウに送る **DISPLAY** 変数をエクスポートします。

Performance Manager を試用ライセンスで実行している場合は、メッセージ「インスタントオン: はい」、ライセンス有効期限、ライセンス有効期限までの残り日数が、表示されます。

正式な製品ライセンスが既にインストールされている場合、メッセージ「HP Performance Manager は永久ライセンスがあります」が表示されます。

- 2 コマンド **gui** を、License Command> コマンドプロンプトで実行します。 **AutoPass : License Management** ユーザー インターフェイスが表示されます。



- 3 **AutoPass : License Management** ウィンドウに以下のオプションが表示されます。ご希望の要件に合ったオプションを選択してください。

— **Install License Key**

- **Retrieve/Install License Key** - このオプションは、インターネット接続を使用してお使いの HP ソフトウェア製品のライセンス キーを取得するために、使用します。
- **Install/Restore License Key from file** - このオプションは、ASCII テキスト ファイルからライセンス キーをインストールするために、使用します。
- **Request License Key through Email/Fax** - このオプションは、HP 注文番号を使用してライセンス キーを要求するために、使用します。

- 4 上記のオプションのうち 1 つをクリックし、次の手順に従います。詳細については、*HP Autopass* オンライン ヘルプを参照してください。

または、ASCII テキスト ファイルでライセンス キーをお持ちの場合、以下のコマンドライン オプションを実行して、同様にインストールできます。

- 1 下記のコマンドを入力します。

```
<bin_dir>\ovpm license
```

ライセンス コマンド プロンプトが表示されます。

- 2 以下のコマンドを実行します。

```
License Command> インストール
```

- 3 入力ファイル名を入力するように求めるメッセージが、表示されます。

- 4 テキスト ファイルの名前を、パス全体と共に入力します。

ライセンスのインストールが終了すると、確認メッセージを受信します。



以下は、**Autopass : License Management** ユーザー インターフェイスで使用可能な他のオプションです。詳細については、*HP Autopass* オンライン ヘルプを参照してください。

- **Report License Key** - このオプションは、インストールされている製品ライセンスのリストを表示するために、使用します。
- **Backup License Key** - このオプションは、ファイルにライセンス キーのバックアップを取るために、使用します。
- **Remove License Key** - このオプションは、インストールされているライセンスを削除するために、使用します。
- **Recover License Key** - このオプションは、"Remove License Key" オプションを使用して削除したライセンスを追加するために、使用します。

HP Performance Manager の削除

Windows または HP-UX および Solaris システムにインストールされた Performance Manager を削除するには、以下のセクションで説明する手順に従います。

- Windows での HP Performance Manager のアンインストール
- HP-UX および Solaris での HP Performance Manager のアンインストール

Windows での HP Performance Manager のアンインストール

Windows システムから HP Performance Manager をアンインストールするには、次の手順のいずれかを実行してください。

- サポート付きアンインストール
- サポートなしアンインストール

サポート付きアンインストール

アンインストール ウィザードを使用して、Performance Manager をアンインストールするには：

- 1 HP Performance Manager が実行中の場合、停止します。
- 2 スタート > 設定 > コントロール パネルに進みます。
- 3 プログラムの追加と削除をダブルクリックします。
- 4 HP Performance Manager を選択します。
- 5 変更と削除をクリックして、アンインストールします。HP Performance Manager アンインストール ウィザードが表示されます。
- 6 **アンインストール** オプションを選択します。
- 7 次へをクリックします。「プレアンインストールの概要」画面が表示されます。
- 8 アンインストールをクリックします。ウィザードが Performance Manager のアンインストールを開始します。
- 9 アンインストールを完了するには、完了をクリックします。

サポートなしアンインストール

Performance Manager をコマンドプロンプトを使用してアンインストールするには：

- 1 Windows コマンドプロンプトを開き、以下に示すように、HP Performance Manager **HPOvPM_8.20.000_setup.exe** ファイルが保存されているドライブ名を入力します。

<drive>:

この場合、*drive* は Performance Manager ファイルの場所となります。

- 2 以下のコマンドを実行します。

```
<drive>/HPOvPM_8.20.000_setup.exe -i silent
```

HP-UX および Solaris での HP Performance Manager のアンインストール

- 1 ルートユーザーとしてログインします。
- 2 ディレクトリ `/opt/OV/Uninstall/HPOvPM` に変更します。
- 3 アンインストールを実行します。
 - X11 インターフェイスを使用するには、必要に応じて **DISPLAY** 変数をエクスポートし、X11 ターミナルをポイントするようにします。次いで、コマンドを実行します。

```
./setup.bin
```
 - コマンドラインインターフェイスを使用する場合、次記のコマンドを実行します。

```
./setup.bin -i console
```
- 4 アンインストールを選択します。

設定ファイルおよびユーザー グラフ テンプレートの削除

Performance Manager を削除しただけでは、設定ファイルやユーザー グラフ テンプレートは削除されません。データ ディレクトリからファイルを手動で削除する必要があります。

クリーンアップ スクリプトを使用した Performance Manager ファイルの削除

Performance Manager コンポーネント削除の後、次のクリーンアップ スクリプトを実行する必要があります。このスクリプトは `<install_dir>\support` から入手できます。

Windows 用 `clnup_ovpm.bat`

UNIX 用 `clnup_ovpm.sh`

クリーンアップ スクリプトは、以下のファイルを `<PM_data_dir>\conf\perf` から削除します。

- `OvPMconfig.ini`
- `OvPMUsers.xml`
- `OvPMSystems.xml`
- `ovpm.tcf`
- `VPI_GraphsUserFavorites.txt`
- `OvPMReportTemplate.htm`
- `"VPI_"` から名前が始まるすべてのフォルダ

4 Performance Manager 8.20 へのアップグレード

お使いのシステムに HPOM がインストールされている場合、PM バージョン 8.20 にアップグレードする前に、お使いのシステムで、windows 用 HPOM のバージョンが 8.10 以降、または UNIX 用 HPOM のバージョンが 8.31 以降であることを確認してください。

- ▶ `<install_dir>/newconfig` ディレクトリの内容を変更した場合、アップグレード中に HP インストーラによってファイルが上書きされるため、Performance Manager 8.20 にアップグレードする前に、`<install_dir>/newconfig` ディレクトリにある VPI_Graphs テンプレート ファイルを、別の場所に保存することをお勧めします。
- 古いバージョンの Performance Manager (5.X, 6.X および 8.00) から 8.20 バージョンに、直接アップグレードすることはできません。古いバージョンの Performance Manager からバージョン 8.20 にアップグレードする場合は、まずバージョン 8.10 にアップグレードし、その後バージョン 8.20 にアップグレードします。その方法については、*HP Performance Manager インストールおよびアップグレードガイド*、バージョン 8.10 を参照してください。
- Performance Manager バージョン 8.10 を 60 日有効な試用ライセンス (別名 Instant On ライセンス) で使用しており、試用ライセンスの有効期限が切れる前に Performance Manager バージョン 8.20 にアップグレードする場合、バージョン 8.20 は 60 日有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。たとえば、Performance Manager バージョン 8.10 を 60 日間の試用ライセンスで使用しており、15 日後に Performance Manager バージョン 8.20 にアップグレードした場合、バージョン 8.20 は 60 日有効な新しい試用ライセンスでインストールされます。Performance Manager のライセンスについての詳細は [Performance Manager ライセンス キーのインストール](#) を参照してください。

Performance Manager バージョン 8.10 からのアップグレード

HP インストーラがお使いのシステムから Performance Manager 8.10 を検出し、Performance Manager 8.20 にアップグレードします。

- HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.20 へのアップグレード
- Windows での Performance Manager 8.20 へのアップグレード

HP-UX および Solaris での Performance Manager 8.20 へのアップグレード

Performance Manager をコマンド ライン インターフェイスでアップグレードするには：

- 1 ルート ユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.20 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 以下のコマンドを実行します。
`<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.20.000_setup.bin -i console`
- 4 インストーラからインストールを継続する指示が出されたら、**Enter** キーを押してください。ライセンス情報について、「ライセンス契約の条項に同意します」というプロンプトが表示されます。
- 5 条件に同意し、インストールを続けるには、**Y** を入力します。インストーラによって、お使いのシステムがインストール要件を満たしているか確認されます。
- 6 インストールを続けるには、**Enter** キーを押してください。プレインストールの概要に、インストールするアプリケーションの名前およびバージョン、アプリケーション ディレクトリ、データ ディレクトリ パスなどの情報が表示されます。
- 7 インストールを続けるには、**Enter** キーを押してください。

X11 インターフェイスを使用して Performance Manager をアップグレードするには：

- 1 ルート ユーザーとしてログインします。
- 2 HP Performance Manager 8.20 CD/DVD-ROM を、CD/DVD ドライブに挿入します。必要に応じて、CD/DVD-ROM をマウントします。
- 3 **DISPLAY** 変数をエクスポートし、**X11** ターミナルをポイントするようにします。
- 4 以下のコマンドを実行します。
`<CD/DVDrom_mount>/HPOvPM_8.20.000_setup.bin`
HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。次へをクリックします。「ライセンス契約」画面が表示されます。
- 5 ライセンス契約の条件を読んでください。インストールを続けるには、ライセンス契約の条項に同意しますオプションを選択します。
- 6 次へをクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。画面には、アップグレードされるコンポーネントのリストが表示されます。

7 アップグレードをクリックします。

▶ インストール中、すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスが、表示される場合があります。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。

- すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- すでにインストールされているコンポーネント パッケージの修復を強制的に行いますチェック ボックスをクリアし、選択した **HP Software** コンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェック ボックスをクリアしても、現在インストールされているソフトウェア コンポーネントは変更されません。

▶ アップグレードが失敗した場合、元に戻すか、アップグレードを終了することができます。**ロールバック** オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。**終了**をクリックすると、アップグレードが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のアップグレードを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のアップグレード再開またはアンインストールのどちらかを実行するかを、確認する指示が出ます。

8 詳細タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、コンポーネントのリストを表示します。

9 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、**ログ ファイルの表示**をクリックします。

10 インストールを完了するには、**完了**をクリックします。

Windows での Performance Manager 8.20 へのアップグレード

Performance Manager 8.20 にアップグレードするには：

1 HP Performance Manager 8.20 CD/DVD for Windows を、CD/DVD-ROM ドライブに挿入します。HP Performance Manager インストール ホーム ページが表示されます。

2 **HP Performance Manager をインストール**をクリックします。

または

CD/DVD-ROM ドライブで、**HPOvPM_8.20.00_setup.exe** をダブルクリックします。HP Performance Manager インストール ウィザードに、メディア ファイルおよびログ ファイルの場所が表示されます。

3 **次へ**をクリックします。「ライセンス契約」画面が表示されます。

4 ライセンス契約の条件を読み、「ライセンス契約の条項に同意します」オプションを選択します。

5 **次へ**をクリックします。インストーラが、インストール要件を確認します。インストール要件の確認が終了したら、**次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。この画面には、**Performance Manager 8.10** とともにインストールされるコンポーネントのリストが表示されます。

6 **アップグレード**をクリックします。

7 **詳細**タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、コンポーネントのリストを表示します。

アップグレード作業を完了するには、**完了**をクリックします。お使いのシステムから Performance Manager バージョン 8.10 が削除され、Performance Manager バージョン 8.20 のデスクトップアイコンが作成されます。Performance Manager を開始するには、Performance Manager アイコンをダブルクリックします。HP Performance Manager ホーム ページが表示されます。

▶ Performance Manager 8.20 へのアップグレード終了後、ノード許可は持ち越されません。これは、バージョン 8.20 では、ノードグループを顧客と関連付けて、複数レベルのノードグループを持つことができるためです。ただし、ノードを顧客と関連付けることはできません。

Performance Manager バージョン 8.10 からのノード許可は、PM_Data_Dir\conf\perf\OVPMUsers.xml.bkp ファイルに保存されます。Performance Manager 管理者は、必要に応じてノード許可を手動で設定する必要があります。ノードグループおよび顧客を設定する手順の詳細については、*HP Performance Manager* オンラインヘルプを参照してください。

Performance Manager バージョン 8.10 からのデータ移行

Performance Manager では、任意の対応プラットフォーム上の Performance Manager バージョン 8.10 のデータの、任意の対応プラットフォーム上の Performance Manager バージョン 8.20 への移行を、可能にするコマンドラインオプションを用意しています。データを移行するには、以下のタスクを実行します。

- 1 Performance Manager バージョン 8.10 がインストールされているシステムから、場所 <PM_data_dir>/conf を閲覧し、フォルダ「Perf」を Performance Manager バージョン 8.20 がインストールされているシステム上の同じ場所に、コピーします。
- 2 Performance Manager バージョン 8.20 がインストールされているシステム上で、下記のコマンドを実行します。

ovpm migrate

Performance Manager 8.10 のデータすべてが、Performance Manager バージョン 8.20 がインストールされているシステムに移行されます。

移行に関連するログ ファイルは、<temp_directory>/HPOvInstaller ディレクトリにあります。ログ ファイルには、適切なメッセージも含まれます。ログ ファイルのファイル名の形式は PerfUtil-MM-dd-yyyy.log.0 です。

例：Performance Manager 8.20 は、PA-RISC ではサポートされません。ovpm migrate コマンドを使用して、Performance Manager バージョン 8.10 がインストールされている HP-UX PA-RISC システムから、データを移行させることができます。

▶ Performance Manager 8.20 への移行後、ノード許可は持ち越されません。これは、バージョン 8.20 では、ノードグループを顧客と関連付けて、複数レベルのノードグループを持つことができるためです。ただし、ノードを顧客と関連付けることはできません。

ただし、8.10 からのノード許可は、OVPMUsers.xml.bkp ファイルに保存されます。Performance Manager 管理者は、必要に応じてノード許可を手動で設定する必要があります。ノードグループおよび顧客を設定する手順の詳細については、*HP Performance Manager* オンラインヘルプを参照してください。

アップグレード結果

アップグレードが正常に行われた場合：

- **HP-UX** および **Solaris** システム上では、アプリケーション ディレクトリおよびデータ ディレクトリパスが表示されます。
- **Windows** システム上では、HP\HP BTO Software\Performance Manager フォルダが **Windows** システムの **スタート > プログラム** メニューに追加されます。
- アップグレード後、関連するログ ファイルは <temp_directory>/HPOvInstaller ディレクトリにあります。ログ ファイルには、適切なメッセージも含まれます。ログ ファイルのファイル名の形式は、PerfUtil-MM-dd-yyyy.log.0 です。

この場合、**MM** は月を、**dd** は日を、**yyyy** は年を示します。ファイル名は、最後にアップグレードが実行されたときのタイムスタンプを示します。

インストール ディレクトリのプログラム ファイルで指定した場所から、**HP Performance Manager** ドキュメントを使用できます。**HP Performance Manager** ドキュメントの全リストは、[6 章、関連ドキュメント](#)を参照してください。



Performance Manager 最新バージョンへのインストール、移行、またはアップグレード後、ファイル OVPMconfig.ini および OVPMUsers.xml には、以下のうち **1** つまたは複数の適切なメッセージが含まれます。

- **Performance Manager** バージョン **8.20** を初めてインストールした場合、次記のメッセージになります。Performance Manager バージョン 08.20.000。
- **Performance Manager** バージョン **8.10** からデータを移行した場合、次記のメッセージになります。Performance Manager バージョン 08.20.000 に移行されました。
- **Performance Manager** バージョン **8.10** からアップグレードした場合、次記のメッセージになります。Performance Manager バージョン 08.20.000 にアップグレードされました。

5 Performance Manager のクラスタ環境でのインストール

Performance Manager を Windows または HP-UX および Solaris のクラスタ環境にインストールするには、次のセクションで説明されている手順に従います。HP Performance Manager インストール ウィザードは、クラスタ環境を検出することができません。

- ページ 33 の Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール
- ページ 36 の HP-UX または Solaris クラスタでの Performance Manager のインストール

HP Performance Manager と同時に HP Operations Manager (HPOM) for Windows または for UNIX を使用する場合、Performance Manager をインストールする前に HPOM をインストールし、設定をしておく必要があります。

クラスタ用語

リソース グループ

VERITAS クラスタ、Sun クラスタ、MC/ServiceGuard などのクラスタ環境では、アプリケーションは複合リソースとして示されます。リソースを集めたリソース グループは、クラスタ環境で実行されるアプリケーションを示します。

リソース グループの用語は、クラスタ環境により異なります。異なるクラスタ環境での用語リストは、表 1 を参照してください。本マニュアルでは、クラスタ環境のリソース グループを指す一般的な用語として、クラスタ固有の用語の代わりに高可用性 (HA) リソース グループが使用されています。Performance Manager はクラスタ指向であり、専用リソース グループが必要となります。

表 1 クラスタ環境のリソース グループ

クラスタ環境	略語	HA リソース グループの指す内容
MC ServiceGuard	MC/SG	パッケージ
VERITAS クラスタ サーバー	VCS	サービス グループ
Sun クラスタ	SC	リソース グループ
Microsoft サーバー クラスタ	MSCS	リソース グループ



- お使いのシステムに HPOM がインストールされている場合、**Performance Manager** を同じリソース グループに設定する必要があります。
- お使いのシステムに **Performance Manager** と **Reporter** がインストールされている場合、**Performance Manager** と **Reporter** の両方に同じリソース グループを設定しても、別々のリソースグループを設定しても構いません。

システム要件

Performance Manager をインストールする前に、クラスタの各ノードについて ページ 10 のインストール要件が満たされていることを確認してください。

Performance Manager をクラスタ環境にインストールするための要件

Performance Manager にクラスタ設定をするには、次のリソースが使用可能か確認してください。

- 最低 2 つのノード サーバー クラスタ
- PM 設定ファイル保存用の共有ディスク
- クラスタの仮想サーバー名を解決する最低 1 つの専用静的 IP アドレス

インストール前に

システムに **HP Operations Manager** がインストールされていない場合、**Performance Manager** をクラスタ環境でインストールする前に、データ ディレクトリのファイル システムを準備する必要があります。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。

- ページ 33 の **Windows** ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備
- ページ 36 の **HP-UX** および **Solaris** ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備

HP Operations Manager がクラスタ環境でインストールされている場合、ファイル システムを準備する必要はありません。そのまま、インストールを進めることができます。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。

- ページ 33 の **Windows** クラスタ環境での **Performance Manager** のインストール
- ページ 36 の **HP-UX** または **Solaris** クラスタでの **Performance Manager** のインストール



同じクラスタの複数のノードで、同時にインストールを開始しないでください。まず、1 つのノードに **Performance Manager** をインストールし、インストールの完了を待ってから、次のノードのインストールを開始します。

Windows クラスタ環境での Performance Manager のインストール

Performance Manager をクラスタ上で実行するには、クラスタのすべてのノードに Performance Manager をインストールする必要があります。クラスタ システムに Performance Manager 8.10 をインストールするには、以下のタスクを実行します。

HPOM がインストールされているノードに Performance Manager をインストールする場合

- 1 インストール方法は、ページ 14 の **Windows** での Performance Manager のインストールを参照してください。設定を変更しないでください。
- 2 ステップ 9 に進みます。

HPOM がインストールされていないノードに Performance Manager をインストールする場合

ファイル システムを準備する必要があります。詳細は、ページ 33 の **Windows** ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備を参照してください。ファイル システムを準備した後、インストールを進めます。インストールの方法は、**Windows** でのファイル システム準備後のインストール手順を参照してください。

Windows ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備

- 1 クラスタの共有ドライブでの <PM_data_dir> の位置を、特定します。
- 2 ディレクトリ構造を作成します。例：データ ディレクトリを R:\HP にする場合、共有されたクラスタ ドライブに完全なディレクトリ構造 R:\HP\<data_dir> を作成します。


Windows でのファイル システム準備後のインストール手順

データ ディレクトリのファイル システムを準備したあと、Performance Manager をインストールするため、以下のタスクを実行します。

- 1 以下の構文をコマンド プロンプトに入力します。

```
HPOvPM_8.10.00_setup.exe -Dpmdatadir=<PM_data_dir>
```

HP Performance Manager インストール ウィザードが表示されます。


 Performance Manager をお使いの Windows システムに初めてインストールする場合、インストール用パラメータを含む ovinstallparams.ini ファイルが、システムの temporary ディレクトリに作成されます。インストール中、HP Software インストーラは ovinstallparams.ini ファイルを確認します。インストーラがお使いのシステムで ovinstallparams.ini ファイルを検出すると、ファイルの値を再利用するかどうかを確認するメッセージが、表示されます。

- 設定ファイルの値をデフォルト値として使用する場合は、**はい**をクリックします。
- 既存の設定ファイルに上書きするには、**いいえ**をクリックします。

インストーラがファイルを検出できない場合は、デフォルト値の ovinstallparams.ini ファイルが作成され、temporary ディレクトリに保存されます。ovinstallparams.ini データを保存するには、他の HP Software 製品をインストールする前に、別の場所にファイルをコピーします。

システムのロケールを 英語、日本語、韓国語、簡体字中国語のどれか 1 つに設定している場合、インストールの開始時に、言語を選択するようにインストーラから指示が出ます。システム ロケールを設定する言語を選択するオプションがあります。システム ロケールが上記以外の言語に設定されている場合、インストーラには「英語」のみが表示されます。

- 2 インストール ウィザードで、**次へ**をクリックします。「ライセンス契約」画面が表示されます。
- 3 ライセンス契約の条件を読み、「ライセンス契約の条項に同意します」オプションを選択します。

 お使いのシステムに他の HP Software 製品がインストールされている場合、インストール ウィザードにより、該当製品のアプリケーション フォルダ パスおよびデータ フォルダ パスが、Performance Manager のインストール用デフォルト ディレクトリとして表示されます。他の HP 製品がインストールされておらず、Performance Manager を初めてインストールする場合、次のディレクトリのフォルダ パスを指定します。

- a プログラム ファイルを保管したいアプリケーション フォルダ パスまたはディレクトリ。デフォルトのアプリケーション ディレクトリは C:\Program Files\HP\HP BTO Software です。
- b ログ ファイルなどのデータ ファイルを保管したいデータ フォルダ パスまたはディレクトリ。Windows 2003 では、デフォルトのデータ ディレクトリは C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\HP\HP BTO Software です。Windows 2008 では、デフォルトのデータディレクトリは C:\ProgramData\HP\HP BTO Software です。

- 4 **次へ**をクリックします。「プレインストールの概要」画面が表示されます。この画面には、インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。

5 **インストール**をクリックします。

▶ コンポーネントのうち、すでにインストールされているものがある場合、インストール中に「**すでにインストールされているコンポーネントパッケージの修復を強制的に行います**」チェックボックスが表示されます。この場合、以下のいずれかのオプションを使用することができます。

- 「すでにインストールされているコンポーネントパッケージの修復を強制的に行います」チェックボックスを選択し、選択したコンポーネントを規定どおりに再インストールします。
- 「すでにインストールされているコンポーネントパッケージの修復を強制的に行います」チェックボックスをクリアし、選択したコンポーネントが規定どおりに再インストールされないようにします。チェックボックスをクリアすると、現在インストールされているソフトウェアはそのまま保持されます。

▶ インストールが失敗した場合、元に戻すか、インストールを終了することができます。**ロールバック** オプションは、既にインストールされたコンポーネントをアンインストールします。**終了**をクリックすると、インストールが終了しますが、これまでにインストールされたコンポーネントはアンインストールされません。次回、**Performance Manager** のインストールを開始すると、インストーラから、**Performance Manager** のインストール再開またはアンインストールの、どちらかを実行するかを確認する指示が出ます。

6 **詳細**タブをクリックし、コンポーネント ツリーを拡張し、**Performance Manager** と他の HP 製品の間で共有されるコンポーネントのリストを表示します。

7 お使いのシステムのログ ファイルを表示するには、**ログ ファイルの表示**をクリックします。

8 インストールを完了するには、**完了**をクリックします。デスクトップに **Performance Manager** アイコンが作成されます。**Performance Manager** を開始するには、**Performance Manager** アイコンをダブルクリックします。HP **Performance Manager** ホーム ページが表示されます。

▶ システムを再起動する必要がある場合、「システム設定の変更を有効にするには、システムの再起動することが必要な場合があります。インストールを終了しますか?」というメッセージが表示されます。必須ではありませんが、インストール後、システムの再起動をお勧めします。

9 インストールを確認する方法は、ページ 20 の**インストール結果**を参照してください。

10 **Performance Manager** のホーム ページに、ブラウザからアクセスできることを確認してください。URL に、ノードの名前または IP アドレスを指定します。

例：<http://xyz.abc.hp.com:8081/OVPM>

11 **Performance Manager** を停止するため、以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
ovc -stop ovtomcatB
```

12 次のノードに共有ドライブを含むリソース グループを移動します。

13 クラスタの該当ノードから、共有ドライブにアクセスできるか確認します。

14 クラスタ内のすべてのノードについて、**ステップ 1**から**ステップ 11**を繰り返します。

15 **Performance Manager** のインストールが完了したら、すべてのノードで **Performance Manager** を開始します。次の構文をコマンドプロンプトに入力します。

```
ovc -start ovtomcatB
```

- 16 すべてのノードに **Performance Manager** がインストールされた後、ブラウザから **Performance Manager** ホーム ページにアクセスできるか確認します。URL に、仮想のノード名または仮想 IP アドレスを指定します。

構文：

http://<clustername>:8081/OVPM

http://<clusterIPaddress>:8081/OVPM

デスクトップ上の **Performance Manager** アイコンをクリックして **Performance Manager** を開く場合、ショートカットを修正し、クラスタ名または IP アドレスをポイントするようする必要があります。デフォルトのショートカットは、物理ノードの名前または IP アドレスをポイントします。



Performance Manager を設定する場合、設定の変更がクラスタのすべてのノードに一貫して行われていることを確認してください。詳細については、*HP Performance Manager 管理者ガイド* を参照してください。

HP-UX および Solaris ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備

データ ディレクトリのファイル システムを準備するには、次のステップに従います。

- 1 ディレクトリ `<OVDataDir>/shared/server` を作成します。デフォルトのデータ ディレクトリ (`OVDataDir`) は次のようになります。`/var/opt/OV/conf/perf`。別のディレクトリを指定することはできません。
- 2 共有ドライブのマウント ポイントの準備：

— `/var/opt/OV/shared/server`

ルートユーザーにマウントの「書き込み」権限が与えられているか確認してください。ファイル システムにマウントした後、インストールを進めます。

HP-UX または Solaris クラスタでの Performance Manager のインストール

Performance Manager をクラスタ上で実行するには、クラスタのすべてのノードに **Performance Manager** をインストールする必要があります。クラスタ システムに **Performance Manager 8.10** をインストールするには、以下のタスクを実行します。

- 1 **Performance Manager** を HPOM がインストールされているノードにインストールする場合、**ステップ 2** へ進みます。**Performance Manager** を HPOM がインストールされていないノードにインストールする場合、データ ディレクトリのファイル システムを準備する必要があります。ファイル システムの準備方法については、ページ 36 の **HP-UX および Solaris ノードのデータ ディレクトリのファイル システムの準備** のセクションを参照してください。
- 2 **Performance Manager 8.10** をこのノードにインストールします。インストールの方法は、ページ 17 の **HP-UX および Sun Solaris** での **HP Performance Manager** のインストールを参照してください。設定を変更しないでください。
- 3 すべてのノードのインストールを確認する方法は、ページ 20 の **インストール結果** を参照してください。

- 4 Performance Manager 8.1 のホーム ページに、ブラウザからアクセスできるか確認してください。URL に、クラスタの主なノード名または IP アドレスを指定します。

例 : `http://xyz.abc.hp.com:8081/OVPM`

- 5 Performance Manager 8.10 を停止するため、以下の構文をコマンドプロンプトに入力します。

`ovc -stop ovtomcatB`

- 6 次のノードに共有ディスクを含むリソース グループを移動します。
- 7 クラスタの該当ノードから、共有ドライブにアクセスできるか確認します。
- 8 クラスタ内のすべてのノードについて、**ステップ 1** から **ステップ 5** を繰り返します。
- 9 すべてのノードで Performance Manager のインストールが完了したら、すべてのノードで Performance Manager を開始します。次の構文をコマンドプロンプトに入力します。

`ovc -start ovtomcatB`

- 10 すべてのノードに Performance Manager がインストールされた後、ブラウザから Performance Manager ホーム ページにアクセスできるか確認します。URL に、仮想のノード名または仮想 IP アドレスを指定します。

`http://<clustername>:8081/OVPM`

`http://<clusterIPaddress>:8081/OVPM`



Performance Manager を設定する場合、設定の変更がクラスタのすべてのノードに一貫して行われていることを確認してください。詳細については、*HP Performance Manager 管理者ガイド* を参照してください。

クラスタにインストールした Performance Manager を 8.20 へアップグレード

すべてのノードにインストールされている Performance Manager 8.10 を、一度に 1 ノードずつアップグレードできます。実行方法は、以下のセクションで説明する手順を参照してください。**Performance Manager バージョン 8.10 からのアップグレード**。

HP Performance Manager の削除

Performance Manager のアンインストール方法は、ページ 23 の **HP Performance Manager の削除** を参照してください。Performance Manager をクラスタの最後のノードからアンインストールする際、最後のノードの共有ドライブが作動しているか確認してください。

6 関連ドキュメント

Performance Manager に関する情報は、複数のソースから入手することができます。**Performance Manager** 使用法の主な情報源として、コンテキスト依存のヘルプ システムをご利用いただけます。お使いのシステムに **Performance Manager** をインストールすると、同時に、インストール ガイドおよびリリース ノートがインストールされます。

ドキュメント	場所	用途
コンテキスト依存のオンライン ヘルプ	<ul style="list-style-type: none">• Performance Manager ヘルプのドロップダウン メニューからご利用いただけます。• コンテキスト依存ヘルプのページは、それぞれの画面に対応しており、画面およびダイアログ ボックス上でヘルプ ボタンをクリックすると表示されます。	以下のタスクを行うためのユーザー ガイド： <ul style="list-style-type: none">• すぐに使用できるサンプル テンプレートを使用した、さまざまな種類のグラフ作成• インスタンス比較グラフ、システム比較グラフ、マルチソース グラフのデザイン• 既存のグラフ定義の編集、およびユーザー定義グラフとしての保存• ドリルダウンで、必要な精度によるデータ表示• お気に入りリストへのグラフの追加• グラフの削除
チュートリアル	Performance Manager ヘルプのドロップダウン メニュー	Performance Manager の設定およびさまざまなタスクの実行を行うための、ステップごとの説明。
管理ガイド		データソースの設定、セキュアな通信の設定、バッチ パラメータの使用、顧客 / ユーザー / ノードの管理などに関する情報の提供。
リリース ノート		Performance Manager 8.20 リリースに関する情報の提供。

A コンポーネントおよびパッチ

Performance Manager の各バージョンのインストールパッケージから入手できるコンポーネントおよびパッチのリストを次の表に示します。

製品バージョン / パッチ	コンポーネント / コンポーネント依存関係 / パッチ
6.0	<ul style="list-style-type: none">• HPOvBbc-05.20.050• HPOvCtrl-01.50.230• HPOvJxpl-02.61.020• HPOvJPacc-10.00.132• HPOvJbbc-05.20.050• HPOvJdkA-01.04.220• HPOvJsec-02.20.040• HPOvXpl-02.61.020• HPOvPacc-10.00.131• HPOvSecCo-02.20.040• HPOvTomcatA-05.00.285• HPOvLic-04.32.000• HPOvLicJ-01.04.00
6.01.000 および 6.00.040 (パッチ)	<ul style="list-style-type: none">• HPOvBbc-06.00.051• HPOvCtrl-01.50.230• HPOvJxpl-02.61.082• HPOvJPacc-10.00.180• HPOvJbbc-06.00.051• HPOvJdkA-01.04.220• HPOvJsec-02.20.040• HPOvXpl-02.61.082• HPOvPacc-10.00.180• HPOvSecCo-02.20.040• HPOvTomcatA-05.00.285• HPOvLic-04.32.000• HPOvLicJ-01.04.00• HPOvLcja-02.10.000• HPOvLcko-02.10.000• HPOvLczS-02.10.000

製品バージョン/パッチ	コンポーネント/コンポーネント依存関係/パッチ
06.01.060 (パッチ)	<ul style="list-style-type: none"> • HPOvBbc-06.00.060 • HPOvCtrl-01.50.230 • HPOvJxpl-02.61.120 • HPOvJPacc-10.00.251 • HPOvJbbc-06.00.060 • HPOvJdkA-01.04.230 • HPOvJsec-02.20.100 • HPOvXpl-02.61.120 • HPOvPacc-10.00.251 • HPOvSecCo-02.20.100 • HPOvTomcatA-05.00.290 • HPOvLic-04.32.000 • HPOvLicJ-01.04.00 • HPOvLcja-02.10.000 • HPOvLcko-02.10.000 • HPOvLczS-02.10.000
8.00.000	<ul style="list-style-type: none"> • HPOvXpl (Windows)-06.00.076 • HPOvJxpl-06.00.076 • HPOvBbc-06.10.060 • HPOvJbbc-06.10.060 • HPOvJPacc-10.50.050 • HPOvJsec-6.00.050 • HPOvSecCo-6.00.050 • HPOvTomcatB-05.05.230 • HPOvJREB-1.05.005 • HPOvJdkB-1.05.005 • HPOvSecCC-06.00.050 • HPOvLic-05.50.052 (Windows) • HPOvLic-05.51.053 (Solaris) • HPOvLic-05.51.061 (HP-UX)

製品バージョン/パッチ	コンポーネント/コンポーネント依存関係/パッチ
8.10	<ul style="list-style-type: none"> • HPOvBbc - 06.10.070 • HPOvJbbc - 06.10.070 • HPOvCtrl - 06.00.080 • HPOvJsec - 6.00.050 • HPOvSecCo - 6.00.050 • HPOvJxpl - 6.00.096 • HPOvXpl - 6.00.096 • HPOvLic - <ul style="list-style-type: none"> — 05.50.066 (Windows) — 05.51.061 (HPUX) — 05.51.053 (Solaris) • HPOvJPacc 10.50.090 • HPOvTomcatB 05.05.236 • HPOvJREB 1.05.006 • HPOvSecCC 6.00.050

B パッチ コマンド

サイト固有のパッチ

以下のコマンドを使用することで、Performance Manager 用のサイト固有のパッチ (ホットフィックス) を配備できます。

- **ovpm deploywar** の「< 場所>」- Performance Manager の war ファイルの配備および抽出に使用します。このコマンドを使用する前に、詳細情報について、サイト固有のパッチに関連付けられた README ファイルを参照してください。この場合、場所 は、war ファイルの場所を意味します。このコマンドを実行すると、ovpmbatch により生成されたすべてのグラフが削除されます。本オプションにより、自動的に以下の操作を行います。
 - a Performance Manager アプリケーションを停止します。
 - b Perf.war ファイルを、<Install_dir>/www/webapps/OVPM で指定した場所から抽出します。このファイルは Performance Manager 用のバイナリを含みます。
 - ▶ 場所を指定しない場合、デフォルトで Perf.war ファイルが、場所 <Install_Dir>/newconfig/OVPM から <Install_dir>/www/webapps/OVPM へ抽出されます。
 - c Performance Manager アプリケーションを開始します。

一般的なリリース パッチ

コマンドプロンプトで以下のコマンドを使用することで、Performance Manager 用の一般的なリリース パッチをインストールしたり、元に戻すことができます。

<bin_dir>/pmpatch <オプション>

この場合、< オプション> には以下のオプションのいずれかを指定します。

- **<patchfilename> をインストール** - Performance Manager の新しい一般的なリリース パッチをインストールするために、以下のタスクを実行します。
 - a 一般的なリリース パッチを、指定された場所からダウンロードします。
 - b パッチ ファイルを一時的な場所に保存します。パッチ ファイルを抽出します。パッチ ファイルには、インストール手順が記載された readme.txt および、このパッチに含まれる変更と欠陥の修正の概要が記載された patchtext.txt が含まれます。
 - c パッチ ファイルを、<install_dir>/newconfig/OVPM にコピーします。
 - d パッチのインストール手順については、readme.txt ファイルを参照してください。

- ▶ 当製品の既存のバージョンと同じ状態に戻す場合は、パッチのインストール中に、既存のバージョンをバックアップするように選択できます。インストーラがメッセージで指示し、ユーザーは必要に基づいて選択できます。ただし、当製品の既存のバージョンのバックアップをしない場合、同じ状態にロールバックすることはできません。

本オプションにより、以下の操作を行います。

- a Performance Manager アプリケーションを停止します。
- b パッチに固有のファイルを置換します。
- c Performance Manager アプリケーションを開始します。

インストール後に作成されるログ ファイルは、<pm_data_dir>/log ディレクトリに保存されます。ログ ファイルの形式は以下になります。

PM-Patch-<version>-<install>-<MM-dd-yyyy>.log。

- **ロールバック** - インストールされている最新のパッチを削除し、以前にインストールしたバージョンに戻すために、以下のコマンドを実行します。

pmpatch rollback

- ▶ このオプションは、お使いのシステム上に以前のバージョンのバックアップがある場合のみ、使用できます。

本オプションにより、以下の操作を行います。

- a Performance Manager アプリケーションを停止します。
- b 以前のバージョンに固有のファイルを元に戻します。
- c Performance Manager アプリケーションを開始します。

ロールバック後に作成されるログ ファイルは、<pm_data_dir>/log ディレクトリに保存されます。ログ ファイルの形式は以下になります。

PM-Patch-<version>-<rollback>-<MM-dd-yyyy>.log。

